

止まり木



令和4年（2022年）

7月19日発行

第13号

大阪市立横堤中学校

きっといつかは届く

今日で1学期が終了しました。明日から夏休みに入ります。夏休みという貴重な時間を前にして、みんなに心がけてほしいことを今日の終業式でお話ししました。しっかりと自分を鍛える夏にして欲しいと願っています。以下、今日の終業式でお話しした内容を改めて紹介します。



1学期終業式

今日で1学期が無事終了しようとしています。みんなはどんな1学期を過ごしたでしょうか？悔いなく過ごせたでしょうか？授業や各行事、部活動にみんなは本当によく頑張っていたと思います。そんな君たちだからこそこの夏休みでさらに力をつけるために頑張ってほしいことがあります。それは何か一つでもいいので目標を持ち、それに挑戦してほしいのです。夏休みの宿題をやるのはもちろんですが、それに加え、例えば毎日漢字を10個書く。計算問題を10個解く。家の手伝いを何か一つやる。本を読む。など何でもいいので自分で決めたことに挑戦してほしいと思います。『ベイビーステップ』というアニメがあるのを知っていますか？最初こそ「体力のなさ」から小学生にも馬鹿にされるごく平凡な高校生が、ふとしたことで硬式テニスと出会います。「全てのボールに追いつき、それをコントロールできれば理論的には負けない」という言葉を信条に、類まれなる動体視力と記憶力、試合中でもノートで試行錯誤する独自のプレースタイル、そして生来の生真面目さと素直さによる努力・吸収力により、驚異的なスピードで実力をつけていく。という物語です。その中で彼が言った言葉の中に「**たとえ目標がどんなに遠くても、どんなに自分の一步が小さくとも、立ち止まりさえしなければ、きっといつかは届く**」というものがありました。努力の基本は、“一步が小さくとも立ち止まらないこと”。ということです。一步一步の大きさは関係ありません。小さな一歩でも、継続すればいつか目標に届きます。そのことをみんなには知っておいてほしいのです。

「三日坊主」という言葉がありますが、みんなはこの言葉にどんなイメージを持っているですか？何かやろうとしても飽きやすく長続きしない、途中であきらめてしまうなど、どちらかといえば悪い印象を持っていると思います。実際に辞書で調べてもそういう意味でのっています。しかし、どうせ続かないからと決意することや目標を立てることから逃げないで欲しいと思います。校長先生は三日坊主になんていいと思っています。**三日坊主も10回やれば30日やったことになる**からです。最初からあきらめて何もしないよりは3日だけでもやることのほうが大切なのです。その繰り返しがやがて長続きし、大きな自分の力になることだと思います。校長先生には横堤中学校をこんな学校にしたいという夢があると4月にお話ししました。覚えてくれていますか？校長先生も横堤中学校の教職員と力を合わせて一歩ずつその努力を続けていきます。どうか、みんなも頑張って夏休みを有意義に過ごしてください。8月25日、元気なみんなと会えることを楽しみにしています。

地域のみなさま・保護者のみなさま

まだまだ、先の見えない状況が続いているますが、どのような状況になっても子どもたちのために「今できること」を教職員一同考えてまいります。夏休み中は地域・ご家庭に子どもたちをお返ししますが、何かございましたら、学校までご連絡ください。よろしくお願ひいたします。